

緊急赤潮情報2-6

令和6年7月24日
大分県農林水産研究指導センター水産研究部

佐伯湾で有害プランクトン（カレニア・ミキモトイ）が分布域を拡大し、注意・警戒密度を超えています。ご注意ください。

発生場所	佐伯湾
発生期間	7月1日～
プランクトン	カレニア・ミキモトイ
	小田代 (3m層) 2,300 cells/mL
	沖松浦漁港 (3m層) 4,000 cells/mL
	鶴見振興局裏(3m層) 1,350 cells/mL
	鶴見ポンツーン(表層) 3,100 cells/mL
	(2m層) 4,100 cells/mL
	(5m層) 2,500 cells/mL
	守後 (5m層) 525 cells/mL
	片神 (3m層) 6,300 cells/mL

(カレニア・ミキモトイ赤潮の注意点)

- ・ 注意密度：200細胞/ml 警戒密度：2,000細胞/ml
- ・ カレニア・ミキモトイは魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ・ 特に、アワビ、サザエ等では海面が着色する前に斃死する可能性があります。
- ・ 表層が着色しなくても、中層に赤潮を形成していることがあります。
- ・ 午前中、海色が良くても午後から色が悪くなる場合があります。
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し、養殖、蓄養中の魚介類に被害を及ぼすことがあります。

赤潮発生場所での対応

- ・ 投餌は控える。
- ・ 赤潮海域へ魚介類を入れない。
- ・ 赤潮海域から魚介類を避難する。
- ・ 蓄養は控える。

